

令和6年10月11日
茨城県保健医療部保健政策課
課長 小野 幸子
(担当：笹口 029-301-3117
内線 3112)
茨城県立医療大学付属病院
学長 阿部 慎司
(担当：森川 029-888-9200)

県立医療大学付属病院における個人情報漏えい事案について

県立医療大学付属病院において、同病院に入院中の患者「A」の個人情報を含む、リハビリテーション総合実施計画書について、付属病院に入院中の別の患者「B」を担当する民間の介護支援専門員（ケアマネージャー）にファックスにて誤って送信し、個人情報が漏えいする事案が発生いたしました。

情報が漏えいしました患者様並びに県民の皆様の信頼を損ねる事案を起こしてしまったことを深くお詫び申し上げますとともに、同様の事案が発生しないよう、再発防止に努めてまいります。

1 事案の概要

(1) 経緯

2024年10月4日	職員が、入院中の患者「B」を担当するケアマネージャーに対し、リハビリテーション総合実施計画書をファックス送信する際に、「A」に関する同計画書を誤って送信
10月4日	ファックス送信後、職員が誤送信に気づき、送信先の介護支援専門員に連絡。謝罪とともにシュレッダー廃棄を依頼
10月5日	職員から「A」の家族に電話連絡し謝罪
10月7日	病院幹部職員から、「A」の家族に対し、電話連絡し謝罪

(2) 誤って送信した書類

- ・リハビリテーション総合実施計画書（氏名、性別、生年月日、診断名、障害名、障害の内容等）

2 発覚後の対応

- ・情報が漏えいした患者「A」の家族に対し、電話で謝罪（10月5日、7日）

3 事案発生原因

- ・内容物の確認不足

4 再発防止策

- ・個人情報を含む書類について、ファックス送信する際には、個人情報部分のマスキング（黒塗り）を徹底（従来は、相手方からの要望があればマスキングを解除していた）
- ・チェックリストをファックス機に貼付け、書類送付前の最終確認を徹底
- ・複数人によるチェック、声出し・指差し確認の徹底